



審判副委員長



## 戦評用紙

種別 **バレーボール (聴覚)** 会場 **大野市エキサイト広場総合体育施設体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **13** 日 土曜日 第 **1** 日目

**B** コート 第 **2** 試合

1回戦(第2試合)  準決勝(第 試合)  3位決定戦  決勝戦  交流戦(第 試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	25	—	23	}	0	福井県	都道府県、指定都市名
大阪市	25	—	11				
2		—					
都道府県、指定都市名							都道府県、指定都市名

【審判員】

主 審： 宮前 憲一 副 審： 入場 賢則  
 記録員： 齊藤 志穂 A・S： 宗信 昭子 A・S： 水上 ひろみ

【戦 評】

記載者： 廣瀬 智之

福井県と大阪市の一回戦。サーブとチームワークが持ち味の福井県と、梅本、今井選手を中心とした攻撃を行う、大阪市の対戦となった。

第1セット、大阪市は確実なレシーブから梅本選手を中心とした攻撃で、序盤から大きくリードを奪う。大阪市は、中盤にも連続得点しさらにリードを広げた。対する福井県は、終盤、粘り強いレシーブから丸山選手のスパイク、源谷選手のサーブで連続得点し追いついたが一步及ばず、大阪市がこのセットを取った。

第2セット、序盤から両チームともに一步も引かない接戦となる。中盤、大阪市は、今井選手を中心とした攻撃で、連続得点を奪いリードする。福井県も、サーブと粘り強いレシーブから反撃を試みるが、地力に勝る大阪市が正確なレシーブからの攻撃で、着実に得点を重ね、準決勝進出を決めた。